

*** 冥闇星 宮殿結婚式会場 ***

セキュリティゲートを通過して成層圏内へ突入する宇宙潜航艇。

宮殿上空に到達すると、潜航艇の後部ハッチが開いてレイの戦闘機中隊が飛び出してくる。

それに続いて弁天とお雪を乗せた真っ赤なエアロバイクが発進する。

婚約者レアンもスピーダーに跨ってそれに続く。

ランはシャトルに乗って上空で待機する。ラムの奪還に備えるためだ。

弁天　ラン、下で暴れてくるから待っててくれ

ラン わかったわ。 レイさん、無茶しない
いでね……

レイ 心配ない

お雪 迎撃機が上がってきたわ、注意して。

弁天 おっしやーっ、ラムを取り返すぜっ。

レイ ラム、今行くぞ

お雪 ランも気を付けてね

ラン 大丈夫よ、お雪ちゃん……

レイと弁天は目配せして、予定通りの行動に移る。レアンのスピーダーも続く。

冥閻星の迎撃機が多数上昇してくるのが見える。

弁天達の狙いは結婚式場上空の制圧後に結婚式会場への突入だ。

レイの戦闘機中隊が空中戦に入るのが見える。

レイ 10時方向 敵機2機。
撃墜する。
編隊を崩すな。

第二小隊長 ラジャー！

第三小隊長 ラジャー！

レイ達が綺麗な編隊を維持したまま、接近してきた敵機を撃墜しているのが見える。

その後も各小隊がそれぞれ他の敵機に向かっている。

弁天 レイのやつ、なかなかやるなあ

お雪 操縦替わるわよ。

弁天 お雪、たのんだぜ。

エアロバイクを操縦していた弁天がハンドルを握ったまま、逆立ちのような姿勢になる。

その下にお雪が潜り込みハンドルをつかむ。
弁天は逆立ち姿勢からお雪を跨ぐように飛び

越えて後部座席に座る。
と同時にレーザーカノン砲を取り出して構える。

お雪 弁天、そろそろ来るわよ。

弁天 わかった、準備はOKだ。

お雪 1時の方向から敵迎撃機一機！

弁天が座席から立ち上がってレーザーカノンを構える。

敵迎撃機が迫ってくるのが見える。照準を合わせる弁天。

ここで弁天の顔のクローズアップ、照準器の
マーカーと弁天の右目の瞳が一致する。
・このシーンはカッコよく描く

弁天 お雪、よーそろー。

お雪 距離 120！

弁天 N（照準器を睨みながら）どんぴし
やだ・・・もらった！

レーザーカノンを発射する弁天。辺り一面
に閃光が走る。

敵迎撃機にレーザー弾が直撃し、炎を噴きな
がら墜落していくのが見える。

弁天とお雪に 次の敵迎撃機が迫る。

お雪 11時の方からくるわ、一機。

弁天 了解。（と言って照準を合わせる）

弁天 N ピッタリだ、修正なし。いけ

ーっ！

再びレーザーカノンを発射する弁天。見事
に2機目を撃墜する。

レイの戦闘機中隊は敵迎撃機を蹴散らし、上

空を制圧しつつある。

眼下、地表近くではレアンのスピーダーが物凄
い勢いで結婚式会場方向へ飛んでいくの
が見える。

弁天 お雪っ！ あいつに続け！

お雪 了解！
赤いエアロバイクが急降下してレアンのスピー
ーダーを追っている。

お雪がスピーダーを操縦しながら周囲の冥閻
星の親衛隊や兵隊たちを次々と凍らせて
いる。

弁天 やるじゃねえか、お雪！

弁天もレーザーカノンを撃ちまくっている。

結婚式会場は突然の乱入者で大混乱に陥っている。逃げ惑う招待客たちと混乱を抑えようと必死の冥闇星関係者たち。

収集のつかない大混乱の中、冷静に状況を把握しようとしている招待客があちこちに
いるのが見える。

彼らはお互いに目配せしている。潜入している鬼星同盟星団の破壊工員とスパイ達だ。

鬼星同盟星団 工員 A 隊長、この混乱は何事ですか？（通信機へ話しかける）
通信機の声 どうやらラム様の仲間達が暴れているらしい。とにかくラム様の安全を確保しろ。

工員 A 了解。味方工員と連携してラム様の安全を確保します。
通信機の声 頼む。

近くにいた味方工作員へ目配せして指示を出す。一気に動き出す同盟星団の破壊工作員達。

ステージ上で冥闇星親衛隊に守られているラムに接近する。

冥闇星の親衛隊員をなぎ倒し、ラムの周囲を確保する味方工作員とスパイ達。

少し驚いて成り行きを見守っているラム。

工作員A ラム様、ご安心下さい。我々は同盟軍です。

ラム ありがとう、助かるっちゃ。

既にラムの周りは多数の味方工作員とスパイ達で囲まれており安全が確保されているが、親衛隊との間でちよつとした小競り

合いは続いている。

直立したまま驚愕の表情で成り行きを見つめて
いるタダル。

レアンのスピーダー後方に弁天とお雪の乗っ
た真っ赤なエアロバイクが続いているの
が見える。

ラムN 弁天！ お雪ちゃん！

直上にはレイの戦闘機中隊が飛び回っている
のも見える。

ラムN レイも・・・みんな来てくれたっち
やね・・・

その時、轟音と共にレアンのスピーダーがス
テージ上を横滑りで突っ込んでくるのが
見える。

ステージとスピーダーの摩擦で激しく火花が
飛び散っている。

スピーダーとの衝突を避けるため逃げ惑うス
テージ上の人々で大混乱している。

レアンのスピーダーは轟音を立てながら、タ
ダルの目前まで迫ってきている。微動
だにしないタダル。

親衛隊員達 あっ、あれはレアン様
だ………レアン様が何故………

停止するかしらないかの内に、スピーダーか
ら飛び降りて皇太子の目前に迫るレアン。

元婚約者の乱入に混乱する親衛隊。全
員が銃を構えている。

叫びあう親衛隊員達。 どう対処すべきか戸惑っている。

周囲の混乱を縫ってレアンがタダルに飛び掛る。

レアン　タダル、目を覚ませー。 私が分からないのかーっ！（襟首に掴み掛かる）

タダル　おっ、お前は・・・（気押されて、うろたえる皇太子）

レアン　私だーっ、私だよーっ！（両手で襟首をつかんで叫ぶ）

タダル　お前は・・・（驚愕の表情を浮かべている）

レアン　分からないのかー！ 何でなんだよー！ どうしてなんだよー！（号泣している）

タダル　（無言のまま 婚約者の顔を凝視

している)

レアン バカーツ！ (タダルの頬を力一杯殴るレアン、たまらず倒れる皇太子)

あっけに取られていた親衛隊が婚約者を取り抑えにかかる。

レアン タダルーっ！ (両脇を捕まえられながら、泣き叫ぶ)

仰向けに倒れた皇太子の頬に婚約者の涙が落ちる。

その瞬間、靄がかかったようなタダルの瞳に電撃的に生気が戻り、能面のような表情から感情が蘇ってくる。

皇太子に掛けられていた催眠コントロールが、婚約者の捨て身の行動と涙により霧散したのであった。

自分自身を取り戻した皇太子が弾けるように
叫ぶ。

タダル レアン！ レアン！

レアン タダルーツ

タダル 彼女を放せー！ レアンを放すん
だー！

慌ててレアンを解放する親衛隊。

タダルに飛びつくレアン。 それをしっか
りと受け止め、強く抱きしめる皇太子。

タダル レアン！

レアン わーっ！（号泣している）

タダル 許してくれーっ、俺を許してく
れ！・・・

レアン タダル・・・（慟哭している）

タダル 許してくれレアン・・・許してくれ、
頼む・・・（強く抱きしめ続けている）

一瞬ではあったが時間が止まったかのようにお互いの顔をじっと見つめ合う二人、涙で瞳が潤んでいる。

再び泣き崩れながら強く抱擁しあう。

ラムが周囲を護衛している味方破壊作業員達の間を押し分ける。

ラム　どいてっ！　そこをどいてっちゃ！

作業員 A　ラ、ラム様。　どうされました？

ラムは目の前で起きている現実に圧倒されている。

ラム　（無言でじっと二人の様子を凝視している）

ラム　こんなことが・・・信じられない

っちゃ・・・（独り言）

二人の真実の愛と強い信頼の絆を目の当たりにして、激しく感動し強く心を揺さぶられるラムなのであった。目には涙が浮かんでいる。

タダルが今この場でなにが起きているのかを理解し、完全に事態を把握できたようだ。

レアンを抱き締めたまま毅然とある決意を宣言する。

タダルの顔を見上げるレアン。

タダル 皆の者、静まれ！ これ以上の勝手な行動は許さん！ この結婚は無効だ！ 全てを無かったこととし、この場は直ちに解散とする！ ラム様には鬼星へ安全に帰還して頂くことを今ここで保

証する！

出席者達の動揺が収まらず騒然とする宮殿会場。

*** 冥闇星 国王の間 ***

タダルとレアンは寄り添いながら玉座に深々と座った国王と対峙して話し合っている。

タダル 父上、今回の騒動は一体何のため
に？．．．もしかして．．．

国王 そうじゃ、我が冥闇星はひどく衰えてしまった。

タダル 確かに．．．今のままではこの先．．．
国王 助けが欲しいのじゃが、なかなか快
い返事をくれるところが無い。

タダル それは我々に何か問題が．．．
国王 そうかもしれん、嫌われておるの
じゃろう。

タダル 今、苦しいのも……

国王 ワシは昔の栄光を取り戻したいんじゃない。
それに力のある星々の後ろ盾がどうしても欲しいんじゃない。

タダル 元々、鬼族を頼ろうとしていたのでは？

国王 そうじゃ、お前も知つての通り鬼族は勢力が強く友好関係にある星団も沢山ある。

タダル 我々と違って……
国王 わしらにとって最も良い協力相手じゃないじゃ。

タダル それなのにこんなことをしては……却って恨まれます。

国王 前々から同盟を申し込んでいたのじゃが……
タダル 良い返事は……

国王 ダメじゃった。わしもこの先長くは無い。生きていく内に何としても鬼族の協力が欲しかったのじゃ。

タダル それなら何故こんな騒動を？

国王 親戚になつてしまえば嫌とは言えな
くなるじやろうと考えた。

タダル しかしこんな遣り方では．．．
これでは人質の強奪ですよ。

国王 無理筋だったか．．．

タダル 協力どころか唯では済まないでし
よう。ラム様の親父殿は必ずラム様を
取り返しに來ます。

国王 お前の言うとおりかもしれん．．．
あの親父殿は家族思いだからな．．．

タダル 私にもレアンがいるのです。
国王 お前の婚約者にも迷惑を掛けてし
まった。

タダル 一番迷惑を掛けたのはラム様です。
そして我々の国民にも．．．
国王 そうだったな。あまりに浅はかだ
ったかもしれん．．．耄碌したか．．

タダル そして鬼族は我々を滅ぼすでしよ
う。

国王　．．．（うつむいたまま無言）

タダル　とにかくラム様には今すぐ鬼星にお戻り頂きます、婿様と一緒に。

国王　嫁御を返すのか？

タダル　それ以外に我が冥闇星が生き残る道はありません。

国王　そうか．．．．わかった．．．．
そうしてくれ。

タダル　今後の対応は私にお任せ下さい、
どうなるかわかりませんが．．．．

国王　お前ともっと話し合っておけば良かったかもしれん。

タダル　今となっては．．．．

国王　この先どうなる？

タダル　わかりませんが、残された可能性に掛けるしかないでしょう。

うなだれる国王。　ダタルに強く抱きつく
レアンの表情は不安そうだ。

タダルは覚悟を決めたのか引き締まった顔を
している。

***冥闇星 宇宙船発着場 ***

ラムのUFOが発進準備をしている。

弁天やお雪、ランの乗ったシャトルも見える。

レイの戦闘機中隊も上空で編隊を組んで待機
している。

タダルの部下達がコールドスリープされたあ
たるを装置ごとUFOに運び込んでいる
が、ラムも心配そうな表情で装置に手を
置きながら付き添っている。

タダルとレアンがその様子を少し離れたところ
から見守っている。

タダルが歩いて近づきながらラムに話しかけてくる。

レアンもすぐ後ろから一緒に歩いてくる。

タダル　ラム様、婿様の様子は如何でしたか？

ラム　大丈夫だった。何の問題もないっちゃ。

タダル　それは良かった。．．．．．今回の騒動では大変なご迷惑をお掛けしてしまいました。お詫びのしようもありません。

ラム　タダルさんは催眠術で操られていますんでしょう？

タダル　そうですね、冥闇星一族として今回の騒ぎを引き起こした責任からは逃れられません。お父上にはどのような罰でも受け入れます、とお伝え下さい。

ラム　うちらが無事に帰れば、とーちゃんも許してくれると思うっちゃ。

タダル　しかし・・・ただでは済まないで
しよう。

ラム　うちからも頼んでみるっちゃ。あ
んまり心配しないで。

タダル　私の覚悟は出来ています、どんな罰
であつてもお受けします。　ですが、
どうか我が国民の命だけは・・・

うなだれて言葉が続かないタダル。
レアンが脇からしっかりとタダルを支えてい
る。

そんなタダルを見つめていたラムがゆっくり
と口を開く。

ラム　・・・わかったっちゃ。それならば、
うちがとーちゃんに代わって今ここで罰
を与えるっちゃ。

ラムの言葉を聞いて緊張を高める側近や親衛
隊員たち。銃を構えそうになっている。

タダル（親衛隊に向かって）動くな！ ラム様のご意思のままに！

レアンの手をそつとほどいてラムに正面から向き合うタダル。

不安な表情でタダルとラムを見つめるレアン。

ラムがタダルを見据えたまま電撃を加える。苦しそうな表情を浮かべながらも、じつと耐えるタダル。

タダル（再び親衛隊に向かって）うっ、動くなっ！

レアンもたまらず、タダルに飛び付いて一緒に電撃に耐えている。

ラムが電撃を止めて言う。

ラム　これで罰は全て終わりだっちゃ。

タダル　（少し苦しそうに）全て、ですか？

ラム　（穏やかな表情で）全てだっちゃ。

これでお仕舞い。

タダル　たったこれだけですか？・・・

ラム　これで全部だっちゃ。

タダル　大変なご迷惑をお掛けしたのに・・・

レアン　なんと慈悲深いお方・・・

タダル　本当にありがとうございます・・・

ラム　それじゃ、うちら、もう行くっちゃ。

タダル　お気をつけて・・・さようなら、

ラム様。

レアン　ラム様・・・さようなら。

しっかりと抱き合いながらラムを見送っているタダルとレアン。

強くしかし愛情のこもった眼差しでお互いを見詰めている。

これから起こる運命も含めてお互いの全てを受け入れた覚悟すら感じられる。

UFOに乗り込みながら、そんな二人を見つめるラム。

一点の曇りすら感じられない二人の絆を目の当たりにして、再び強く心を揺さぶられるのだった。

そしてラムの胸の中にも、まだ漠然としているものの心を捉えて離さないある思いが芽生えてきている。

*** 鬼星 宇宙船発着場 ***

ラム親父と母親、側近達がラムの帰還を出迎えている。

ラムのUFOに続いて弁天達の乗ったシヤ

トルやレイの戦闘機中隊も到着してくる。
ラムが UFO から降りてくると親父と母が
しつかりと抱きしめる。

ラム親父 ラムーっ！ よう戻った、よう戻
ってくれたーっ！

ラム母親 ラム・・・（絶句）

ラムがとうちゃん、かあちゃん！ 心配
かけてごめんちゃ！

ラム親父 怪我は無いのか？

元気なのか！？

ラム うちは元気だっちゃ。でもダ―リ
ンが・・・

ラム親父 そうか、良かった・・・本当に
良かった・・・お前が元気で戻ってくれ
れば、もうワシは何も要らんのじゃ。

ラム（無言であたるを見つめる）・・・
ラム親父・・・婿殿はゆっくり時間をかけ
て起こした方がええ、安全第一や。

ラム わかったっちゃ・・・
ラム親父 疲れたやろう、えらく疲れたやろう、とにかく部屋へ戻ってゆつくり休んでおくれやす。

ラム うん。 そうするっちゃ。

ラム母に抱きかかえられながら宮殿内へ戻っていくラム。

あたるが眠るコールドスリープ装置がラム達に続いて運ばれていく。

ラムの後ろ姿を見送っている親父。

こちらに歩いてくるレイや弁天、お雪達を掴まえて礼を言っている。

鬼星戦闘コントロールルーム

ラム親父と同盟星団および友好星団の軍高官

達がこれからの対応について話し合っている。

同盟軍高官A　旦那さん、あいつらどないしまししょうか？

ラム親父　この騒動にラムを巻き込んだことだけは絶対に許せん。冥閻星のクソジジイと皇太子一族は滅ぼすしかない。

同盟軍高官B　そらそうや。ラムお嬢さんが無事だったからといって、許せることと許せないことがある。あいつら絶対に許したらアカン、旦那さんの言うとおりにや。

ラム親父　ほなら全軍挙げて総攻撃の準備にはいりませ！皆の衆、よろしゅうおたのもうします！

全員　オーツ！

ここで冥閻星の国王から緊急通信が入る。

連絡員の声　旦那さん、冥闇星の国王からの緊急通信が入りました。どないしましたよう？

ラム親父　なんやと！この期に及んで話し合う事など無いがな。

連絡員の声　ほな、切りまつか？

高官 A　旦那さん、どうでっしゃろ、一応聞くだけ聞いてみまつか？

ラム親父　うーむ、今更やが聞いてみるかの。よし、回線を繋いでくれ。

連絡員　了解しました。モニターに映します。

コントロールルームのモニターには冥闇星宇宙巡洋艦の艦橋にいる国王の姿が大写しになっている。

ラム親父　何事や！今更詫びをいれようとしても、もう手遅れや。

冥闇星国王 鬼星の旦那はん、冥闇星の国王や。弁解はせん、ただワシの話聞いて欲しいんじゃ、これが最初で最後じゃ。今度の騒ぎを起こしたのはワシなんじゃ。ラム親父 それがどうした！ 知つとるわい！ お前がガキを使ってラムを奪ったんやろーが！

国王 旦那さん、その通りじゃ。ワシがタダルに催眠術を掛けて操ったんじゃ。ラム親父 つまらん小細工しておって。こんなことでワシらが言うことを聞くとでも思ったんか！

国王 ずっと前から同盟関係をお願いしていたが、お前さんは良い返事をくれなんだ。じゃからワシが何とかしようと考えたんじゃ。ラム親父 こんな騒動を引き起こす奴らと同盟できると思っうか？

国王 その通りや・・・タダルにもえらく怒られた・・・ワシの独りよがりだっ

たんじゃ。

ラム親父　つまり何が言いたいんじゃないじゃ？

国王　ラムお嬢さんを危険に晒したんじゃない、許して貰えないことは分かっている。ただしタダルには罪が無いことを知って欲しかったんじゃない。

ラム親父　それで？

国王　なによりお嬢さんにお詫びをした。い。ホンマにすまなんだと。そしてワシの罪はワシ自身で清算する。じゃがダタルの命は許してやって欲しいんじゃない、ワシの最後をお願いじゃ。

ラム親父　随分と身勝手なお願いじゃな。

国王　無理は承知の上じゃ、たのむ。

ラム親父　．．．（無言で考え込む）

モニター上には国王が皇太子のタダルに向けて交信している様子が写っている。

国王　タダル、迷惑を掛けてすまん。

これからの冥闇星をよろしく頼む。

タダル 父上っ！

再びラム親父に向けて話し掛ける。

国王 鬼星の旦那さん、どうかタダルを許して欲しい、それだけだ。 本当に申し訳なかった、さらばだ。

鬼星軍側近C 全軍攻撃準備！！ 特攻でくるかもしれんぞ！

鬼星同盟軍団の全戦闘艦が一斉に攻撃態勢に入る。

次の瞬間、冥闇星宇宙巡洋艦が自爆して吹き飛ぶ映像がモニターに映し出される。

静まり返るコントロールルーム内。しばらくらく無言でモニターを見つめる一同。

ラム親父　・・・・・・・・やりおったな、
クソジジイめ。　かまわん！　冥闇星へ
の総攻撃準備に入るんや！

全員　オーツ！

冥闇星の国王が自決したこと、鬼星同盟軍が
冥闇星への総攻撃に入ることを聞いて、
ラムがコントロールーム内へ飛び込ん
でくる。

ラム　とうちゃん！　タダルとレアンを助
けて欲しいっちゃん！　二人は何も知らなか
ったんだっちゃん！　操られていただけだ
っちゃん。

ラム親父　じゃがのう、ラム。　お前を巻
き込んだことをワシヤ簡単に許すことは
出来ないんじや。

ラム　二人は謝ってくれたし、うちらを
無事に帰してくれたっちゃん！　どんな罰で

も受けるつもりでいるっちゃ。もう十分に反省してるっちゃ。

ラム親父　反省すれば何でも許されるわけではないんや……

ラム　二人は本当に愛し合っているし、冥閻星の最後の希望なんだっちゃ。助けて欲しいっちゃ、とうちゃん。お願いだっちゃ。

ラム親父　うーむ……じゃがのう……
ラム　とうちゃん！　お願いだっちゃ！

高官C　旦那さん、お嬢様の仰ることはもつともでっせ。お嬢様を無事に還したことは認めたらなあきません。

ラム親父　うーむ、そうかもしれんが……
確かにラムを無事に帰したのは事実やが。

高官C　そこは認めたらなあきません。
ラム　とうちゃん！　二人は十分罰を受けてるっちゃ！

高官C　旦那はん！
ラム　とうちゃん！　助けて欲しいっちゃ！

僅かな間ではあったが何か考え込んでいたラム親父。腑に落ちたように話し始める。

ラム親父　うーむ・・・なるほどなあ・・・
そうか・・・解った。

ラムがそこまで言うなら二人を許したる！　冥闇星への総攻撃も中止や！

ラム　とうちゃん！　ありがとう、うち嬉しいっちゃ！

ラム親父　お前はほんまにやさしい娘やなあ・・・ワシの誇りや。

高官C　よかった、ほんまに良かった。

ラム親父　タダルとかいったな、あのガキに賭けてみるかの。

コントロールルーム内では歓声と拍手が巻き起こっている。

*** 鬼星 宮殿内のラムの間 ***

大きな展望用窓からは夜空と無数の星星が見えている。

コードスリール装置の中ではあたるが眠らされたままである。

コードスリールの安全な解除には丸一日程度掛かるため、直ぐに起こすことは出来ない。

（※装置のディスプレイに24時間後に解除完了予定と表示されている）

ラムはあたるの寝顔をじっと見つめている。

顔を上げると、大きな窓から見える漆黒の夜空に、タダルとレアンの衝撃的な愛の場面がフラッシュバックのように次々と映し出される。

- ・ レアンがスピーダーで結婚式会場へ突入してくる場面

- ・ レアンが命がけでタダルに掴み掛り、泣きながら殴る場面

- ・ タダルがレアンの涙で覚醒する場面

- ・ 二人が強く抱き締めあう場面

- ・ ラムの電撃を二人で一緒に耐える場面

- ・ 帰還するラムを二人が見送る場面

ラムの胸の内には抑えきれない強い思いが溢れてきている。

タダルとレアンの愛情は本物だった。

二人の純粋な愛には一点の曇りも感じられな

かった。そして強い信頼と絆で結ばれていた。

レアンの決死の行動をタダルも全身全霊で受け止めていた。

2人がうらやましかった、本当にうらやまし
いと思った。

だけど自分とあたるはどうか？ あたる
は本当に自分のことを愛している
のか？

あたるは今まで一度も自分のことを愛して
いると言ってくれたことが無い。

もしかすると、あたるは自分のことを愛して
いないのではないか？

あたるの本心を知りたい、どうしても知りた

い。

ラムは強い決意を持って、あるとんでもない
行動に出るつもりでいる。